

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	システムデザイン	
科目基礎情報							
科目番号	30S315			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	竹政昭利 他,「かんたんUML入門」, 技術評論社						
担当教員	西村 俊二						
到達目標							
(1) UMLダイアグラムの各特徴が説明できる。(定期試験) (2) 要求仕様を分析しUMLダイアグラムを作成できる。(定期試験)							
(科目情報) 授業時間 23.25時間 関連科目 プログラミング応用Ⅱ, システム工学							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	基本的なUMLの図を適切に描くことができる			基本的なUMLの図を選択することができる		基本的なUMLの図を適切に選択することができない	
評価項目 2	基本的なUMLの図の描き方を理解し、すぐに描くことができる			基本的なUMLの図を教科書を見ながら描くことができる		基本的なUMLの図の描き方が全く分からない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B2)							
教育方法等							
概要	UML (Unified Modeling Language) はJavaなどのオブジェクト指向言語と相性の良い設計図の表記方法であり、技術者はUMLで書かれた設計書を読めることが期待されている。オブジェクト指向開発を意識しながらUML作成の手法を学習し、活用方法について理解する。 (科目情報) 授業時間 23.25時間 関連科目 プログラミング応用Ⅱ, システム工学						
授業の進め方・方法	【評価方法】 達成目標(1)～(2)について定期試験で評価する。定期試験の単純平均（100点満点）で60点以上を合格とする。60 点に満たない者に対して一度だけ再試験を実施する。						
注意点	(履修上の注意) 本科目で学ぶ内容を使って仕様書を書くことを意識して授業を受けること (自学上の注意) プログラミング応用Ⅰの学習内容を復習しておくこと。						
評価							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	第1章 UMLとは何か 第2章 オブジェクト指向とUML			UMLの街頭とオブジェクト指向との関連を理解する	
		2週	第3章 開発プロセス 第4章 ユースケース図 1			開発プロセスとUMLとの関連を理解する。 ユースケース図の表記法がわかる	
		3週	第4章 ユースケース図 2			ユースケース図の表記法を理解し、活用ができる	
		4週	第4章 ユースケース図 3			ユースケース図の表記法を使って表現ができる	
		5週	第5章 オブジェクト図 第6章 クラス図 1			オブジェクト図の意義を理解する クラス図の表記法がわかる	
		6週	第6章 クラス図 2			クラス図の表記法を理解し、活用ができる	
		7週	第6章 クラス図 3			設計クラス図の表記法を使って表現ができる	
		8週	第6章 クラス図 4			分析クラス図の表記法を使って表現ができる	
	4thQ	9週	後期中間試験				
		10週	後期中間試験の解答と解説				
		11週	第7章 シーケンス図			シーケンス図の表記法と活用について理解する	
		12週	第9章 ステートマシン図			ステートマシン図の表記法と活用について理解する	
		13週	第10章 アクティビティ図			アクティビティ図の表記法と活用について理解する	
		14週	復習			これまで学習した内容を復習し、各図の表記法を使って表現ができる	
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	50	0	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0